

安全データシート

ラサロシドナトリウム

1. 化学物質及び会社情報

化学物質の名称	ラサロシドナトリウム
会社名	ニッチク薬品工業株式会社
住所	神奈川県綾瀬市早川2630番地
担当部署	品質保証部
電話番号	0467-78-0831
FAX番号	0467-76-1016
緊急時の電話番号	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性（吸入：粉じん）	区分 4
	眼に対する重篤な損傷・限刺激性	区分 2B
	生殖細胞変異原性	区分 2
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 2
	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分 1

ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害（粉じん）
眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
長期または反復暴露による肺、皮膚の障害

注意書き

[安全対策]
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護マスクなどを着用する。
粉じんの吸入や眼、皮膚などへの接触を避ける。
長時間または反復の暴露を避ける。
取り扱い後はよく手を洗う。

[応急措置]
眼に入った場合、流水で数分間洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。必要があれば医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合、石けんで洗浄し、多量の流水で洗い流すこと。
飲み込んだ場合、すぐに口を水で洗浄し、医師の手当てを受けること。
吸入した場合、鼻をかみ、うがいをする。空気の新鮮な場所に移し必要があれば、医師の手当てを受けること。

[保管]
施錠して保管すること。

[廃棄]
内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物

成分 ラサロシドナトリウム
(賦形物質等) 米ぬか油かす、流動パラフィン、無水ケイ酸

官報公示整理番号
及びCAS番号

成分名	官報公示整理番号	CAS番号
ラサロシドナトリウム	8-(4)-697 (安衛法)	25999-20-6
流動パラフィン	9-1692 (化審法)	8012-95-15
無水ケイ酸	1-548 (化審法)	7631-86-9 112926-00-8

4. 応急措置

眼に入った場合 流水で数分間洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。必要があれば医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 石けんで洗浄し、多量の流水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合 すぐに口を水で洗浄し、医師の手当てを受けること。

吸入した場合 鼻をかみ、うがいをする。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。必要があれば、医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。

使ってはならない消火剤 火を飛散、拡大させるおそれがあるので、棒状放水は避けること。

特有の危険有害性 火災によって刺激性、腐食性または毒性のガスを発生するおそれがある。加熱あるいは水の混入により容器が爆発するおそれがある。摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。激しく加熱すると燃焼する。

特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火活動は風上から行う。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火を施す者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な保護服（耐熱性）を着用する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。風上から作業し、風下の人を退避させる。密閉された場所に立入る前に換気する。作業者は適切な保護具（8「暴露防止措置及び保護措置」の項を参照）を着用し、服、皮膚への接触や吸入を避ける。漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

環境に対する注意事項 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃

封じ込め及び浄化の方法・機材（回収方法） 棄容器に入れる。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。
漏洩した液は、けいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。物質を固化して掻き取る。
除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。

二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。
(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取り扱い

使用前に取扱説明書入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
酸化剤と接触させないこと。

保管

保管条件

容器は密栓して、施錠のできる冷暗所に保管すること。

容器包装材料

データなし

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

無水ケイ酸（第3種粉じん）

日本産業衛生学会

吸入性粉じん 2mg/m³

(2016 年度)

総粉じん 8mg/m³

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用すること。

作業所には、洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具

適切な保護マスクや呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な保護ゴーグルや保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣、保護長靴などを着用すること。

衛生対策

取扱い時に、飲食や喫煙は行わないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

形状

粉末又は粒子

色

淡褐色～褐色

臭い

特異な臭い

pH

データなし

沸点

データなし

融点

データなし

引火点

データなし

発火点

データなし

自然発火温度

データなし

蒸気圧

データなし

密度

データなし

溶解性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常条件で安定である。

反応性	(流動パラフィン) 酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	(流動パラフィン) 酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

経口	LD ₅₀	マウス：雄	> 1,950 mg/kg	雌	> 2,010 mg/kg (区分外)
		ラット：雄	> 2,250 mg/kg	雌	> 985 mg/kg (区分外)

経皮 データなし

吸入 (流動パラフィン) LC₅₀ ラット 2.18mg/L (区分4)

皮膚腐食性・刺激性 データなし

眼に対する重篤な損傷 (流動パラフィン) 眼に対して刺激性がある。(区分2B)

・眼刺激性 ウサギを用いた娘刺激性試験において、軽度の刺激性がみられた。

呼吸器感受性 データなし

皮膚感受性 データなし

生殖細胞変異原性 (流動パラフィン) 遺伝性疾患のおそれの疑い。(区分2)

ラットを用いた細胞遺伝学的試験 [染色体異常試験] (体細胞 *in vivo* 変異原性試験) における異常細胞の増加に加え、職業暴露を受けたヒトの末梢血リンパ球で染色体異常の頻度増加が観察された。

発がん性 データなし

生殖毒性 データなし

特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) データなし

特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) (流動パラフィン) 長期または反復暴露による肺、皮膚の障害 (区分1) 長年にわたり鉱油、あるいはそのミストの暴露を受けたヒトで肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告され、また、疫学調査において切削油への職業暴露により重度の毛嚢炎の発生が報告されている。

吸引性呼吸器有害性 (流動パラフィン) 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ (区分1)。

ヒトで鉱油の摂取により肺への吸引を起こし、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもたらすとの報告がある。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 データなし

残留性/分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。

汚染容器及び包装 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則 該当しない

国内規則

消防法 (流動パラフィン) 危険物第4類引火性液体第4石油類非水溶性液体

毒物及び劇物取締法 (ラサロシドナトリウム) 劇物

移送時にはイエローカードを保持すること。

輸送の特定の安全対策 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、

転及び条件 転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法

(流動パラフィン) 危険物第4類引火性液体第4石油類
非水溶性液体 (指定数量6,000L)

労働安全衛生法

法第57条の2 (令第18条2) 名称などを通知すべき危険物及び有害物
(政令第168号)

毒物及び劇物取締法

流動パラフィン (168号、鉱油) : 通知 1%以上、表示 0.1%以上
無水ケイ酸 (312号、シリカ) : 通知 0.1%以上、表示 0.1%以上
(ラサロシドナトリウム) 劇物

16. その他の情報

引用文献

コーキン化学株式会社 安全データシート
アバテック (ラサロシドナトリウム)
改定日2017年4月28日